

## 平成 26 年 9 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月は、景況感が改善し受注や売上が増加しているという報告が、一般機器、輸送機器、卸売業やサービス業の一部から寄せられている。

一方で、一般機器、輸送機器、建設業では人員、技能者不足、運輸業ではドライバーの確保困難との声があり、人材不足が続いている。

依然として円安による原材料の高騰や燃料費の高止まりによる収益の悪化を懸念する声が多く、引き続き今後の動向に注目したい。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

- 業界の景況** （〈 好転 〉 - 〈 悪化 〉 = 〈 DI 値 〉）  
 前年同月比は、好転：10.0% 悪化：30.0% DI 値：▲20.0% ポイント
- 売上高** （〈 増加 〉 - 〈 減少 〉 = 〈 DI 値 〉）  
 前年同月比は、増加：15.0% 減少：35.0% DI 値：▲20.0% ポイント
- 収益状況** （〈 好転 〉 - 〈 悪化 〉 = 〈 DI 値 〉）  
 前年同月比は、好転：13.8% 悪化：30.0% DI 値：▲16.2% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲66.7	▲50.0	▲16.7	22.2	▲50.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
0.0	▲33.3	▲50.0	▲41.7	10.0	▲28.6	▲23.4
						

全 体
▲20.0 

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	月見や敬老記念菓子など季節品について販促活動の良好な店舗は堅調であるが、昔ながらの店構え店については今一步。味は良くても、小さな和菓子店は不調。全菓連会議で、「食品表示」・「軽減税率」の経過報告があったが、どちらも区分することが困難であるので、まだ、決定していない。	パン・菓子製造業
	8月は+22.7%で前年同月を大幅に上回り、これまでの月商記録を塗り替えた。4～8月累計も前年同期比+13%と好調に推移。9月は9/24時点で前年同月比+21.7%と依然として高水準の売上となっている。もろもろの要因が複合しての好成績であるが、全国TV放送の連発などメディア露出の効果が最も大きいと分析している。旅行情報誌「じゃらん」でも、読者投票にて「わざわざ行きたい道の駅大賞」を獲得した。	水産食料品製造業 萩市
	夏から商品の動きが少ない。円安が進み、様々な物が値上がりをするので全体的に消費が落ち込んでいる雰囲気がある。今後の動向が不安である。	水産食料品製造業 下関市
	8月の長雨の影響により作況指数も通年より下落し、収穫量の減少が見込まれる。また、昨今の米余りの基調により本年度の米の取引価格は、大幅な下落となることがJAから発表された。平成24年産と比較すると、約40%程度の価格の下落となることなので、大幅な業績悪化となる可能性が高い。	精穀・製粉業
繊維工業	消費税増税後の消費者は買い控えの傾向で、商店主の設備投資も控え気味である。テント業者は、商店主等お客様の経費を抑える為、旧モデル等の在庫を利用する等の努力をしている。全体的な消費の落ち込みを感じるので、景気回復には時間がかかるように思う。	帆布製品製造業
	納入先の状況は販売が伸びず厳しい。組合員企業も以前にも増して経営が厳しい。明るい材料がない。	下着類製造業
	生産ロットがより小さくなって来ている。	外衣・シャツ製造業 山口市
	例年9月は、夏物と冬物の生産の端境期で仕事が少ないが、今年は手が空かない程度に仕事がある。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工戸数が依然として減少。スギ原木価格が品薄により上昇。	製材業・木製品製造業 山口市
	「公共建築物等木材利用促進法」により、木材を使用する公共工事発注が徐々に出ているが、単価・納	製材業・木製品製造業 下関市

	期等の条件があわないものもあり、全ての物件を受注するまでには至っていない。	
印刷	4月～6月の落込みより多少増加傾向ではあるが、一時的なものと思う。価格、量とも低下傾向であるので、固定費等の削減で対応するよう努力している。急激な円安で、これからのコストアップが懸念される。	印刷 下関市
	9月は受注、売上げとも昨年に比べやや持ち直したが、8月の受注が少なかった分のしわ寄せで、資金繰りは大変苦しい。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年同月に比べ出荷数量がさらに激減している。顧客との値上げ交渉が上手くいっていない工場もある模様。行政の入札数も激減し、生き残りの副業を考えているオーナーもいる模様。岩国市の水害では砕石業者は関係がない。砕石の運送で関連の運送業者は水害土砂の運搬で忙しいが、被害にあった運送業者もあるためトラックが不足している。県中央部でもトラックが不足しており、砕石業界では、将来的には、採石業者が各自トラックを所有すべきであるという提案も出始めてはいる。	砕石製造業
	出荷量は、前月比75%、前年同月比85%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、砂、砂利、セメントなど原材料価格の値上げ圧力が高まりつつあり、長北地区及び岩国市玖北地区で生コン価格が上昇している。	生コンクリート製造業
一般機器	9月は、8月より好転している。自動車関連は受注が増え、構造物製造関連は、学校の耐震化や大型ドラッグストアの新店舗建設などで好調。雇用は、相変わらず求人難が続いており、学生の出席する企業説明会への出席の意向もある。組合全体では、8月同様プラスの景況で、年内は続く見込み。	一般機械器具製造業 防府市
	先月と同様に、自動車、機械製造関係、食品加工、スーパー等の人手不足から、外国人技能実習生受け入れ増とともに、新規の受け入れ相談あり。しかし、実習生の場合は入国まで6ヶ月位必要となるので、その間の臨時職員の紹介を依頼されることも多い。ハローワークに登録しても臨時職員の確保も難しく、一部、派遣頼みの企業もある。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上は前月通りで推移。	一般機械器具製造業 宇部市
	金型製造関係の9月設備操業度は8月とほぼ同等だが、リピートに近い金型が複数あり、受注もやや上昇してきた。10月、11月の受注で今期の売上がほぼ確定するので受注促進が必要であるが、価格面がネックになりそう。成形製品関係の設備操業度も	特殊産業用機械製造業

	上昇傾向にあり、新規製品が立ち上がりはじめ、これからの受注増に期待するところ。	
輸送機器	人員不足が解消されない。	船舶製造・修理業
	鉄道車両部門の作業量に大きな変化は無く、順調に推移している。精密加工部門は一時の落込みから脱し、明るさを取り戻してきた。プラント部門は粗100%の作業量となっている。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	規模の小さい事業所は依然として厳しいが、比較的規模が大きい事業所は少しずつ受注が増加傾向にある模様。	各種商品小売業 防府市
	飲料小売業で天候不順の影響が見られ、運送関係では燃料の高止まりに苦慮している。	各種商品小売業 山口市
	業界の景況も低迷したまま変りない。	各種商品小売業 下関市
	低価格品の取引に集中し、収益が悪化している。消費税増税後、毎月売上の減少が続いている。販売の不振が続いている上に不漁で価格が高騰しており在庫が減っている。前年同月比で▲13.9%の落込みとなり、景気回復の兆しが見えない。	乾物卸売業
	温暖化で魚の入荷量が少ないうえに、台風の影響でさらに少なくなっている状況。ふぐシーズンに入り、天然ふぐは高値のスタートとなったが、まだ荷動きは少ない。	生鮮・魚介卸売業
小売業	業界の景況はあまり変化が無い。組合専用化粧品「キリョウ」が伸び悩み、広島県と対抗しての販売促進を行っている。セミナーに出向いたり、売り場の写真コンテスト等も実施して盛り上げている。	化粧品小売業
	組合員事業所については8月と状況変わりなく、厳しい状況で推移しており、消費税10%への移行は不可能な状況との意見が強い。円安の影響で石油など輸入品も高騰し経営に悪影響が出てきている。地方経済は回復感を味わえないまま、低迷の状態にある。地区内の中小企業者の動向は、求人倍率が上昇しているが雇用のミスマッチがあり、特に建設・警備・介護・飲食業が、引き続き人手不足である。	各種商品小売業 岩国市
	9月6日、南北自由通路、JR徳山駅橋上駅舎、周南市コンベンション協会のまちのポートが開業した。9月28日から一週間、銀座通りで片側一車線通行でパークタウンの社会実験がある。	各種商品小売業 周南市

	<p>8月は中旬まで前年同月比でマイナスであったが、下旬にプラスに転じ、加えて休日が前年より一日多かったこともあり、最終的に9.3%の増となった。但し、商店街の人出は少ないままであり、9月に入っても、中旬までは前年同月比でプラスマイナス“0”といった状況。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>9月28日、当ショッピングセンターで地域振興商品券（1,100万円分）を販売した影響もあり、既存店では、前年の売上並で推移しているが、7月に酒のディスカウント店退店の影響もあり、全体売上は、前年同月比をかなり下回っている。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>イベントは無かったが、駐車場利用台数が8月より微増し来客数が少し増えた模様だが、売上の増には及んでいない。10月は気候も良くイベントも実施されるので来客数増も期待出来そうであるが、消費税増税による価格のアップで、消費者が買い控えないことに期待している。</p>	<p>山口市</p>
	<p>顧客が減少している。これは、ネット情報が豊富となり、まず、ネットで情報を得て、お店で靴などは現物を履いてみて確かめ、自宅に帰りネットで購入する現象が増えている。今の世の中で避けられない現象であるが、商売は本当に難しくなった。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>夏以降も節約ムードが続いている様子。各地域のディスカウントストア等は盛況の様子であるが、消費者は生活用品の購入が中心となり、ファッションまでお金を使わないので厳しい。</p>	<p>美容業</p>
	<p>業界の景況も低迷したまま変りない。</p>	<p>理容業</p>
	<p>9月、10月は定期点検整備促進運動の強化月間となっている。今年はマイカー点検PRイベントを9月6日（土）にイオンタウン防府で開催したが、多くの一般ユーザーの来場があった。安心・安全に自動車を使用する為には定期的な点検・整備が不可欠であることから、今後も点検・整備の啓発・推進を積極的に図りたい。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>8月の長雨の影響で、9月も売上の落ち込みから脱却できていない。秋以降の景気回復といわれているが、あまり期待できない。</p>	
	<p>フィットネスジムでは、65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングでは、8月の天候の影響で短期水泳教室の集客が良くなく、そのリカバリーが出来ていない。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>

	<p>ビジネス客の需要がある。観光客は前年に比べて少なかったという声が多い。宴会などは、例年並みであった。日帰り客のバスは元気に走っている。九州からのお客様（研修旅行等）の購買力は高くお土産が良く売れている。昨年に比べ、大幅に落ち込んではない施設がほとんどでした。10月に期待したいという施設が多い。雇用人員も必要な時の人の確保が難しくなった。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
	<p>9月の入浴者数は前年同月比で若干増加し、売上が10%増加。人件費の削減も寄与し、営業収益は若干改善したが、今月は借入の返済があり資金繰りは悪化した。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>非常に厳しい状況にある。特に、原材料の高騰は予想以上で下がる要因が見つからない。原材料の値上がりを吸収するための客数も、単価も確保できない状況。日本が「中国をはじめとする途上国の安価な粗悪品」を食し、途上国の人々が「日本製の高い安全な商品」を食す。経済は、食に始まり健康な終焉を作る生活そのものの具現化であり、グローバルの名のもとに利益のみ追求するのは愚行で経済ではない。日本全国、コンビニとチェーン店ばかりになるとうとしている。業界の大手企業が、「奇をてらい」、「利益を追求すること」に全力し、国民を教育することなど、もってのほかで、安心・安全な食を提供することこそ、目指す道である。</p>	<p>飲食業</p>
	<p>今年は9月に入ってから順調に涼しくなり、夏物衣料も早くからクリーニングに出始め、各地も順調にクリーニングが集まっている模様で、引き続き10月も集まって欲しいところ。また、夏場の湿度が高い時期に雨が多かったので、カビの生えてしまった衣料品がこの時期に数多く集まり、思わぬ売上増に繋がっているが、お店によっては、いち早くカビ取りを売りにしたコースを導入し売上に繋げている。資材や、燃料費はこの数ヶ月落ち着いているが、円安の影響が懸念される。</p>	<p>普通洗濯業</p>
建設業	<p>中電への工事申請は8月244件（当支部分169件）、前年同月182件（同134件）。太陽光発電への申請38件、オール電化申請44件（前年は太陽光33件、オール電化67件）。LED街路灯への切替・新設申請は44件（前年43件）であった。</p>	<p>電気工事業</p>
	<p>今夏は雨が多く就業できない日が多かったので、秋以降は繁忙が予想される。山口県内は公共工事の比率が高く、技能者不足ではあるが、長い不況を経験した事業者は雇用増に向かおうとしない。</p>	<p>左官業</p>

	建設業は公共事業に対する依存度が高く、公共工事の発注が無いと四苦八苦となるが、民間工事に対応している業者の方が財政的に余裕があるように思われる。また、得意分野を持っている業者の方が体力に余裕があるように思われる。業界の活力が感じられなくなりつつある。	土木工事業 柳井市
	依然として、公共工事の単価は低価格。	土木工事業 下松市
	9月の受注高は、対前年同月比61%。今年度の受注の累計は、対前年同月比463%。	土木工事業 萩市
	仕事はあるが、人材不足で賄えない状況。また、夏季の長雨の影響もあり既に工期が遅れ気味である上に、公共工事の発注が例年より遅れているため、今からの入札分については組合内で分担しても2月末の納期に間に合うかどうか分からない状況。	管工事業
運輸業	輸送関係は鉄鋼関係の輸送が一層活発化しているが、長・中距離輸送は依然として車両不足で解決に程遠い状況であり、年末まではなんとかスムーズに運行したいと思慮している。車両不足を来すほどで売上は微増しているが、収益の改善までには至っておらず、前年同月と同じ状況。燃料は2.0円の値下げ。今現在は、原油価格が安定している模様であるが、円安による価格上昇を懸念しているところ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	先月に続いて今月の売上は昨年水準を下回り、前年同月比で▲10%程度。今年度に入りこのような状況が続いている。大手の生産拠点の海外移転によるところが主因であるが、来年度は更に加速する模様。中小運送業にとって、円安の効果はコスト高を招く。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送部門としては、少しずつではあるが荷動きが良くなってきている傾向が感じ取れる。新しい仕事を受注し従業員も増加した。このまま上昇傾向を続けていって欲しいものである。倉庫業部門に関しては、預かり荷物の増加は目に見えて感じられないが、保管荷物の回転が速くなってきている感じはある。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	9月半ばに燃料代が下がり始めたが、急な円安により再び値が上がることを懸念している。8月は天候の悪化と休日が多かったが、組合はまあまあの稼働であった。次回の消費税増税も心配だが、何より景気回復を祈っている。	一般貨物自動車運送業 下関市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+0.6%（平成26年8月1日～平成26年9月20日分）。8月1日～31日分は+1.1%、9月1日～20日分は▲0.1%。8月分は若干プラスになりましたが、9月10日過ぎから減少傾向となった。消費税増税等により、消費が落ち込んでいる状況であることは間違いないと思う。防府地区は前年より若干増加、光市地区はほぼ前年並み、周南が減少、下松地区は周南よりも減少となっており、前月と同じ状況である。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動します。ブタン、プロパンのCPは前月分よりもさらに下降し、円安ではあるが、購入単価は先月よりもさらに1%下がった。それでも前年9月分に比べ+4%の高値。石油石炭税が上がったこともあり、従来の価格に戻ることは難しいように思える。タクシー事業者も収益状況は苦しくなる一方で、乗務員の収入も減少し、一部では高齢者の退職もあって、乗務員確保が難しい状況との声もある。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>相変わらず好転していない。</p>	港湾運送業